

施策評価シート《マネジメントシート》

施策名	学校教育の充実			
施策の体系	基本目標	ひとを育むまち	施策の担当課名	学校教育課
	基本施策	心とからだ育成プロジェクト	関係課名	教育政策課・指導室
	施策コード	B-4-2		

① 施策の現状と課題	<p>現代の子どもたちは社会の変化の激しい時代の中で、遅く生きていく力を身に付けていかなければなりません。そのために、小・中学校では子どもの「確かな学力」や「豊かな心」を育成し、その力が日常生活の中で生かされるよう、様々な体験を積み重ね、自ら学び、考え、行動できるような「生きる力」をもった子どもの育成が重要な課題となってきています。</p> <p>生きる力を育てるには、教科の中で基礎・基本の定着を図り、一人ひとりの個を伸ばす教育を実施していかなければなりません。同時に道徳教育を充実し、豊かな体験を積み重ねるなど、学校教育全体で心の教育を行うことも不可欠です。一方、現代のように多様な価値観と不確定な時代には、学校は地域や保護者の願いを受け止め、確固とした教育理念を持ち、自主性、自律性、主体性を発揮しながら、学校や地域の特色を生かした教育を推進する必要があります。このため、学校は運営の状況を自ら点検、評価し、地域や保護者に十分な説明責任を果たすなど、信頼される学校づくりをしていかなければなりません。</p> <p>一方、児童生徒の学習、生活の場である学校施設については、老朽化が進行し、維持管理上の懸案事項も多く抱えているのが実情です。また、時代の変化に伴う課題として、トイレ便器の洋式化、温暖化現象による平均気温の上昇に伴う教室環境の改善などが挙げられます。これらのことから、老朽化への対応として、計画的に施設整備を進めていくことが必要となります。</p> <p>行橋市内の学校給食は、新たに建設された「防災食育センター」において、安心安全でおいしい学校給食を安定的に提供します。</p>
② 施策の基本方針	<p>子どもたちの「生きる力」を育むため、学校教育全体で、学力の基礎・基本の定着を図るとともに、一人ひとりの個を伸ばす教育、心の教育の充実を進めます。このため、教職員研修の充実や地域に開かれた信頼される学校づくり、小・中連携教育の充実等を推進します。</p> <p>また、老朽化した学校施設について、計画的な整備を進めるとともに、防災食育センターにおいて、安全安心な学校給食を提供します。</p>

③ 施策の内容 (主要施策)	<p><b>主要施策名(1) 教育内容の充実</b></p> <p>「確かな学力」「豊かな心」「正しい体」の育成を基本方針に、児童生徒の実態を把握し、指導内容・方法の工夫を図ります。</p>
	<p><b>主要施策名(2) 特色ある教育の推進</b></p> <p>小・中学校外国語活動の充実により、英語に慣れ親しんだり、積極的に英語を話そうとする児童生徒を育成します。</p>
	<p><b>主要施策名(3) 教職員研修の充実</b></p> <p>若年教師や道徳、情報教育等担当者や、生徒指導主事、教務主任等の研修を実施し、教師の資質の向上を図るとともに、指導力向上のため、市独自の研究指定委嘱や教育研究所等の教育研究の充実にも努めます。</p>
	<p><b>主要施策名(4) 地域に開かれた信頼される学校づくり</b></p> <p>教育活動の情報提供や、学校の自己点検・評価結果の公表等により、地域に信頼される学校づくりに努めます。また、学校図書館機能を高め、読書・情報センターとしての活用や「地域に開かれた学校図書館」を推進します。</p>
	<p><b>主要施策名(5) いじめや不登校問題への対応</b></p> <p>学校生活における悩みの解消を図るため、心の専門家配置や児童生徒相談センター、適応指導教室の充実等、体系的な支援体制を構築し、カウンセリングの充実を図ります。</p>
	<p><b>主要施策名(6) 特別支援教育・通学区域・就学に関する柔軟な対応</b></p> <p>個の教育的ニーズに応じた支援ができる体制やシステムづくりに努めます。また、アシスタント・ティーチャーの活用で個別の教育的ニーズへの対応と支援の充実にも努めます。</p> <p>指定学校変更、区域外就学申立申請があった場合、児童生徒の具体的な事情に応じた就学校の変更を引き続き行います。</p>
	<p><b>主要施策名(7) キャリア教育の充実</b></p> <p>義務教育段階における系統的・計画的な職業教育の推進を図るとともに、中学校を中心とした職場体験等の活動を通して、望ましい勤労観・職業観を身に付けさせるキャリア教育を推進し、児童生徒の進路選択能力の向上に努めます。</p>
	<p><b>主要施策名(8) 小・中一貫教育の推進</b></p> <p>小・中学校の9年間を見通した教育課程や生徒指導で系統的・連続的な指導を可能にし、児童・生徒の望ましい成長を育む小・中一貫教育を推進します。</p>
	<p><b>主要施策名(9) 学校施設整備</b></p> <p>学校施設の耐震化整備を引き続き進めるとともに、老朽化した学校施設について、「行橋市公立学校施設整備総合計画」に基づき、計画的に整備を進めます。</p>
	<p><b>主要施策名(10) 給食センターの建設及び安全安心な学校給食の提供</b></p> <p>平成25年度内に給食センターを建設し、安全安心な学校給食を提供するとともに、学校給食を通じた食の指導の充実を図ります。</p>

④ 目標指標	指標名(単位)	過年度実績				評価年度	目標値		達成度の説明(H26年度)
		H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	
	「夏休み小学生英語教室」参加児童の割合(%)	26.0	26.0	24.0	25.0	23.0	33.0	35.0	前年度と比較して若干下がったが、通常の英語活動の推進と合わせ、活動内容の工夫改善を図ってゆく必要がある。
	アシスタント・ティーチャー配置学校数(校)	11	11	13	13	14	16	17	アシスタント・ティーチャーを増員することにより、前年度と比較して配置校を1校増やすことができた。
小・中学校の耐震化率(%)	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	年次計画に沿って、耐震診断を行い、必要に応じて、施工し、98.6%の耐震化率となった。平成28年度までに耐震化率100%を目指す。	
	68.5	74.3	81.4	88.5	98.6	98.6	100.0		
「行橋市公立学校施設整備総合計画」に基づいた学校施設整備の進捗率(%)	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	平成26年度にトイレ改修工事(椿市小・稗田小)や空調整備工事(延永小・椿市小・行橋北小・長峡中)等を行い、進捗率は13%となった。以降、順次工事を行い、平成28年度までに30%を目指す。	
	0.0	0.0	2.0	2.7	13.0	19.0	30.0		

⑤ 施策構成 事務事業	事務事業名		事務事業の内容			事業費(人件費込、単位:千円)			優先順位
						H25年度実績値	H26年度実績値	H27年度見込額	
	1	教育委員会一般管理事業	教育委員会の運営費(教育委員4名、教育委員会評価委員3名の報酬他)			4,944	5,067	8,110	16
	2	教育委員会事務局政策一般管理事業	事務局の事務経費(教育政策課職員の人件費、各種協議会の経費他)			0	0	15,522	17
	3	特定防衛施設周辺整備事業(ICT)	教育ICTコンサルティング業務委託、教育ICT実証研究指定委嘱校補助金			0	0	10,416	8
	4	教育委員会事務局総務一般管理事業	事務局の事務経費(学校教育課職員8名の人件費、各種協議会の経費他)			7,563	8,012	799	18
	5	小学校施設総務管理事業	11小学校の施設総務管理費(消耗品、光熱水費、各種維持管理委託料他)			95,922	92,461	95,266	22
	6	小学校総務運営事業	11小学校の総務運営費(用務員、司書等の賃金、備品購入費他)			102,654	84,287	87,261	24
	7	小学校補修事業	11小学校の校舎等維持補修工事(校舎補修、サッシ改修他)			11,240	26,080	9,320	26
	8	教科書見直し事業	4年ごとの教科書改訂に伴う教師用指導書・検定本購入費			0	0	25,351	15
	9	小学校用地購入事業	行橋小・延永小学校用地内の個人名義の土地購入費			0	0	88,570	14
	10	再編交付金事業(小学校)	11小学校の教室及び図書室の机、いす、10小学校の遊具の更新、防水事業			15,138	58,763	0	—
	11	小学校教育振興総務一般管理事業	各種協議会経費、小学校図書館協議会負担金他			464	464	254	52
	12	小学校全国大会出場補助事業	スポーツ、文化・芸術等の全国大会の必要経費の補助			0	0	170	54
	13	小学校耐震改修事業	耐震化工事、評価取得・実施設計診断			10,132	125,034	0	—
	14	小学校トイレ整備事業	10小学校のトイレ整備(年次計画)			4,486	138,798	678,786	5
	15	小学校給食配膳室整備事業	小学校の老朽化した配膳室の計画的整備			2,530	22,836	0	—
	16	小学校空調整備事業	小学校の空調設備設置に係る経費			0	141,605	106,704	3
	17	小学校施設整備事業	小学校の施設整備に係る経費			2,289	15,011	0	—
	18	小学校体育館非構造部材改修事業	小学校体育館の非構造部材(吊り天井、照明器具等)の耐震改修			0	3,908	109,394	1
19	小学校屋上防水改修事業	小学校の老朽化した屋上の計画的防水改修			0	0	2,440	9	
20	特定防衛施設周辺整備事業(小学校)	小学校の老朽化した配膳室の計画的整備			0	24,369	43,023	7	



5	21	中学校施設総務管理事業	6中学校の施設総務管理費（消耗品、光熱水費、各種維持管理委託料他）	58,432	59,965	63,075	23
	22	中学校総務運営事業	6中学校の総務運営費(用務員、司書等の賃金、備品購入費他)	62,609	53,289	55,680	25
	23	中学校補修事業	6中学校の校舎等維持補修工事	16,189	18,171	7,820	27
	24	中学校教育振興総務一般管理事業	中学校各種協議会経費、中学校図書館協議会、県中学校文化連盟負担金	455	492	388	53
	25	中学校全国・九州大会出場補助事業	中体連の全国大会及び九州大会等の出場経費の補助	830	556	760	49
	26	中学校生徒対外競技大会出場補助事業	公式戦対外試合への出場費用の補助	1,080	1,080	1,010	50
	27	中学校体育連盟補助事業	行橋市中学校体育連盟が主催する大会運営の補助	880	880	810	51
	28	仲津中学校整備事業	老朽化した仲津中学校校舎の整備	13,379	22,680	251,526	6
	29	中学校耐震改修事業	6中学校の耐震改修	13,775	16,208	0	—
	30	中学校空調整備事業	中学校の空調設備設置に係る経費	0	59,218	66,314	4
	31	中学校トイレ整備事業	5中学校のトイレ整備（年次計画）	0	21,112	0	—
	32	中学校給食配膳室整備事業	中学校の老朽化した配膳室の計画的整備	0	2,428	0	—
	33	中学校体育館非構造部材改修事業	中学校体育館の非構造部材（吊り天井、照明器具等）の耐震改修	0	3,973	189,040	2
	34	特定防衛施設周辺整備事業（中学校）	中学校の老朽化した配膳室の計画的整備	0	3,913	0	—
	35	行橋市給食センター建設事務局事業	給食センター建設委員会等各種委員会を運営するための事務的経費	163,150	0	0	—
	36	行橋市給食センター建設事業	給食センター建設工事費他	1,609,891	0	0	—
	37	学校給食一般管理事業	給食事業実施に係る事務的経費	0	35,657	40,393	21
	38	防災食育センター運営事業	防災食育センターの運営費	0	409,456	450,036	19
	39	防災食育センター施設管理事業	防災食育センター施設管理費（消耗品、光熱水費、各種維持管理委託料他）	0	88,098	95,716	20
	40	特定防衛施設周辺整備事業（防災食育センター）	防災食育センター配送車両購入費	0	13,712	0	—
	41	義務教育施設災害復旧事業	台風や落雷による校舎の破損、大雨による施設の漏水等の災害復旧費	0	0	1,822	56
	42	教育委員会所管施設設計工事管理事業	教育委員会所管公共施設の維持管理及び新規建設のための設計、工事管理業務	4,200	700	0	—
	43	教育委員会事務局学務一般管理事業	教育委員会事務局の学務的経費	675	2,754	1,840	42
	44	幼稚園就園奨励費補助事業	就園児の保護者への経済的負担を軽減するための補助	91,480	126,964	130,261	10
	45	私立幼稚園育成補助事業	私立幼稚園教育の充実及び振興を図るための補助	600	950	1,580	44
	46	市奨学金貸付事業	経済的な理由により就学困難な者に対し学費の一部を貸付、援助する経費	2,640	3,770	5,450	37
	47	小学校施設学務管理事業	市立小学校の施設学務管理費(鼻鏡、耳鏡等の医療機器業務委託ほか)	968	1,501	1,496	35
	48	小学校学務運営事業	市立小学校の学務運営事業費(児童・教職員の健康診断、学校医委託ほか)	13,155	13,846	14,685	29
	49	小学校就学援助事業	経済的理由により就学が困難な児童の保護者に対する援助費	43,135	44,295	46,292	13
	50	小学校教育振興学務一般管理事業	小学校学務関係各種負担金等経費(学校保健会、日本スポーツ振興負担金)	3,659	4,899	5,366	33
	51	小学校特別支援教育就学奨励費補助事業	特別支援学校に就学する児童の保護者の経済的負担を軽減するための経費	1,967	3,361	3,915	40
	52	児童観劇補助事業(小学校)	家庭の経済的負担軽減、文化教育の振興、児童の感性を育てるための経費	1,359	1,808	1,854	46

5	53	中学校施設学務管理事業	市立中学校施設学務管理費(鼻鏡、耳鏡等の医療機器業務委託ほか)	469	1,009	984	36
	54	中学校学務運営事業	中学校の学務運営事業費(生徒・教職員の健康診断、学校医委託ほか)	7,238	8,022	8,549	30
	55	中学校就学援助事業	経済的理由により就学が困難な生徒の保護者に対する援助費	40,327	39,357	43,243	12
	56	中学校教育振興学務一般管理事業	中学校学務関係各種負担金等経費(学校保健会、日本スポーツ振興負担金)	1,823	3,114	3,116	34
	57	中学校特別支援教育就学奨励費補助事業	特別支援学校に就学する生徒の保護者の経済的負担を軽減するための経費	1,412	1,773	2,292	41
	58	生徒観劇補助事業(中学校)	家庭の経済的負担軽減、文化教育の振興、生徒の感性を育てるための経費	652	1,131	1,171	47
	59	教育指導一般管理事業	教育相談員、AT等の賃金、各種教育研修負担金、小中学校教育補助金	39,745	46,719	45,383	28
	60	小中学校コンピューター事業	小中学校にコンピュータ等を設置し、情報教育向上を図るための経費	77,036	77,729	80,604	11
	61	スクールアドバイザー事業	特別な支援を必要とする子どもや、保護者等に指導助言のための経費	4,723	4,619	4,664	38
	62	プロジェクトA事業	問題行動を起こす児童・生徒の健全育成のための経費	0	0	36	55
	63	放課後質問教室事業	児童生徒の学力の定着を図るための経費	2,237	2,090	12,749	39
	64	人権教育事業	小中学校における人権教育の推進を図るための経費	1,282	1,316	1,353	45
	65	武道授業奨励事業	中学校における武道実施の講師に対する謝礼	10	0	0	—
	66	部活動外部指導者活用事業	運動部活動と地域社会との連携を促進するための指導者に対する報償	1,330	1,256	1,477	48
	67	語学指導事業	児童生徒の語学力向上を図るためのALTの賃金ほか	19,729	20,276	23,208	31
	68	中学校海外体験学習事業	豊かな国際性を身につけるため国際交流に参加する生徒のための補助	2,450	1,000	2,450	43
	69	適応指導教育事業	不登校状況にある児童・生徒の学校復帰のための援助及び指導業務	7,072	6,878	5,797	32
	70						

6 施策全体の今後の方針と展望  
(主要部長の意見)

「学校教育の充実」という施策は、その評価を指数で表すことが大変困難な施策である。平成26年度においては、「夏休み小学生英語教室」参加児童の割合以外は目標値を達成できたが、学校施設整備の進捗率はまだ大変低い状態であるので今後早急に整備していきたい。また、「夏休み小学生英語教室」についてはその活動内容を改善して、参加児童を増やしたい。

7 総合計画審議会からの意見及び指摘事項等

「夏休み小学生英語教室」の参加児童の割合については、目標値を達成できていないようであるので、市の特色のある取り組みとして参加児童が増えるような工夫をしてもらいたい。  
予算の制約等、色々な問題があると思うが、児童が快適な環境で勉学に励めるよう、トイレ改装や空調整備といった学校施設整備については少しでも早く事業が進むよう尽力してもらいたい。  
教育現場に十分な教員の確保ができていない状況であるとの新聞報道等があった。質の高い教育水準確保のため人材確保・人材育成に力を入れてもらいたい。  
いじめ対策については、未然防止、早期対応が非常に重要である。現在も既にアンケート調査などの取り組みを実施し対策を講じていただいているが、更なる対策についても今後検討していただきたい。  
放課後質問教室事業については、今年度から回数を増やすこととしているが、近隣の大学の学生をボランティアとして活用する方法もあるのではないかと考える。

8 施策に対する市の最終方針

「夏休み英語教室」については、2年ごとに内容の改善を図っているが、児童のニーズも踏まえて、内容を工夫していきたい。  
人材の確保については、新規採用教員増を含め、欠員が発生しないように、引き続き、県教委に強くお願いしていく。人材育成については、経験や職能に応じた、市主管研修の内容の充実、校外研修参加への積極的な働きかけを行っている。  
いじめ問題については、いじめを生まない学校・学級づくりを推進していくとともに、あらゆる教育活動を通して、子どもたちの自尊感情や自己肯定感高め、子どもが抱えているストレス軽減を図っていききたい。  
学校施設の整備については、公立学校施設整備計画に基づき、整備を進めていきたい。  
放課後質問教室の指導員の配置については、教員不足と同様に苦慮している状況です。指摘事項も参考に人材確保を努めます。